健幸おおの２１　第４次の評価と第5次の目標指標について

＜第4次計画の評価＞

①身体活動

目標指標		現状	目標	評価
週1回以上「運動」する人を増やす		37.4%	45%以上	C
適正体重の人を増やす 数値：BMI25以上の人の割合	男	27.5%	25%以下	B
	女	16.0%	12%以下	B
20～30歳代の女性のやせを減らす		18.2%	20%以下	A
1日あたりの歩数を1,000歩増やす	男	平均5,728歩	6,600歩以上	B
	女	平均4,942歩	6,000歩以上	C

②栄養・食生活

目標指標	現状	目標	評価
塩分摂取量を減らす	12.7%	15%以下	A
甘い飲料を多く摂る人を減らす	32.9%	30%以下	B
緑黄色野菜を毎日食べる人を増やす	34.9%	55%以上	C
バランスに配慮した食生活を送っている人を増やす	27.4%	65%以上	C

③たばこ・アルコール

目標指標		現状	目標	評価
成人の喫煙率を下げる	男	28.5%	15%以下	C
	女	5.5%	4%以下	B
毎日飲酒する人の中で（日本酒換算）2合以上飲酒する人の割合を減らす		45.5%	40%以下	C

④休養・こころの健康

目標指標	現状	目標	評価
最近1ヶ月でストレスを感じた人を減らす	39.1%	35%以下	C
心の健康に関する講座の啓発回数を増やす	1回	2回以上	C
事業所ストレスチェックの周知・啓発をする	1回	1回以上	A

⑤歯・口腔の健康

目標指標	現状	目標	評価
55～64歳で残存歯が24本以上ある人を増やす	64.2%	65%以上	B
専門家による支援と定期管理を受けている人の割合を増やす （定期的に通院している人の割合）	50.6%	35%以上	― (※)
3歳児で虫歯がない者の割合を増やす	91.3%	85%以上	A

※市民アンケート調査での設問内容を変更しているため評価困難としている

＜第5次計画の目標指標（案）＞

①身体活動

目標指標		現状	目標
週1回以上「運動」する人を増やす		37.4%	45.0%
肥満の人を減らす 数値：BMI25以上の人の割合	男	27.5%	25.0%
	女	16.0%	12.0%
20歳代の女性のやせを減らす		22.2%	20.0%
1日あたりの平均歩数を増やす	男	平均5,728歩	平均6,600歩
	女	平均4,942歩	平均6,000歩

②栄養・食生活

目標指標	現状	目標
塩分摂取量を減らす	12.7%	10.0%
甘い飲料を多く摂る人を減らす	32.9%	30.0%
緑黄色野菜を毎日食べる人を増やす	34.9%	55.0%
バランスに配慮した食生活を送っている人を増やす	27.4%	50.0%

③たばこ・アルコール

	目標指標		現状	目標
	成人の喫煙率を下げる	男	28.5%	20.0%
		女	5.5%	4.0%
【新】	受動喫煙による不快感や体調不良を感じたことがある人の割合を下げる		12.7%	10.0%
	毎日飲酒する人の中で(日本酒換算) 2合以上飲酒する人の割合を減らす	男	48.8%	40.0%
		女	37.9%	35.0%

④休養・こころの健康

	目標指標	現状	目標
	最近1ヶ月でストレスを感じた人を減らす	39.1%	35.0%
【新】	睡眠で休養がとれている人の増加	―	80.0%
【新】	睡眠時間が十分に確保できている人の増加 （睡眠時間が6～9時間(60歳以上は6～8時間）の人の割合）	―	60.0%

⑤歯・口腔の健康

	目標指標	現状	目標
	55～64歳で残存歯が24本以上ある人を増やす	64.2%	65.0%
【新】	歯科健診受診割合を増やす （過去1年間に歯科検診を受診した人の割合）	50.6%	65.0%
	う歯（虫歯）がない3歳児の割合を増やす	91.3%	増加傾向

【新】⑥健康管理

目標指標	現状		目標	
特定健診受診率を増やす	42.3%		60.0%	
特定保健指導実施率を増やす	43.9%		60.0%	
メタボリックシンドローム該当者および予備軍の割合を減らす	該当者	23.3%	該当者	17.5%
	予備軍	10.2%	予備軍	7.7%
大腸がん検診精密検査受診率を増やす	76.1%		90.0%	

※特定健診受診率・特定保健指導実施率は法定報告値（毎年11月確定）

【目標指標設定の考え方】

・評価「C」（変化なしまたは悪化傾向）の目標は継続

・評価「A」（改善）していても、市の健康課題として更に推進が必要な項目は継続（目標値は更に改善の方向へ変更）

・目標値が実施回数などアウトプット評価は削除（結果で評価していく方針）

・目標値について、国・県の指針や目標値に届いていないものは、その値を目標として設定する。

※目標指標(数値の取り方）は同じでも、表記の仕方を変更しているものもあります